UIFAニュース

第　11　号

平成６年11月

※発行　宇治市国際親善協会
事務局：宇治市宇治琵琶33　宇治市役所秘書課内
ＴＥＬ　0774－22－3141　内線 2059

カムループス市サッカーチームが来宇

太陽が丘で友情のゴール

▲ オールドタイマーサッカーチームと宇治サッカー協会の皆さん（太陽が丘で）

9月7日から14日まで滞在

九月七日、友好都市カナダ・カムループス市からオールドタイマー・サッカークラブ（団長マーティンナゴ助役）二十二名が来宇しました。

一行は、八日に池本市長を表敬訪問、ブランチフラワー市長からの親書を贈りました。今回の来宇では、市内のサッカーチームと三試合を行い、サッカーを通して交流を深めました。また、二十二名全員が市内の家庭にホームステイをし、日本の生活、文化を通した草の根交流がすすめられました。

これまでカムループス市へは、約四百名の宇治市民が訪問、またカムループス市から百二十名の市民が来宇され、両市民間の交流がすすめられてきました。

六泊のホームステイを通して、団長のマーティンナゴ助役は「今回の訪問は大変歓迎され、初めて大人のホームステイを体験しましたが、ホームステイはお互いを理解できる良い機会になったと思う」と感想を述べるとともに、お世話になった市民に感謝の意を表していました。

オールドタイマーサッカーチーム

交流いろいろ

今回のカムループス・オールドタイマーサッカーチームの来宇に際し、宇治市では、宇治市国際親善協会など十四の市民団体で構成する歓迎実行委員会（和田安治委員長）を結成。歓迎プログラムの作成、交流試合の企画、ホームスティの確保などに取り組んできました。

▶試合の前に両チームがエールの交換

▼チーム代表の小沢征夫さんと赤川会長がボールをプレゼント

カムループス市と宇治市は、平成二年七月一日に友好都市盟約を締結、今まで文化、スポーツ教育などの分野で交流が深められてきました。

サッカーの交流は、スポーツ分野では初めての交流となり、宇治市サッカー協会シニア選抜や宇治青年会議所チームなどと三試合を行い、いずれの試合も接戦の末、オールドタイマーサッカーチームが勝利しました。

十一日には市民ふれあいまつり「ユートピア」に参加したサッカーチームは、宇治市サッカー協会旗をかかげて入場、スタンドの市民の声援に手を振ってこたえていました。

▲ Uートピアでは小学生の鼓隊に迎えられて入場（太陽が丘）

また、今回は十八の家庭にホームスティしたのも初めての体験でした。来宇した二十二人のうち十九人が日本は初めてで、各家庭では家族あげて歓迎され、あるホストファミリーでは近所の人たちを呼んでガーデンパーティーをして楽しみ、交流の輪は夜遅くまで続きました。

チームは十四日、市民との交流を思い出に、多くの市民をはじめ関係者に見送られて、宇治を離れました。

▶ホストファミリーと話がはずむサッカーチームのメンバー

英語
中国語

語学講座はじまる

昨年に続いて、今年も十月十四日から英語と中国語の語学講座が始まりました。

開講式では、上林副会長が語学を通して国際交流を深めてほしいとあいさつ。英語と中国語の二つのコースに分れて講座は始まりました。

この講座の講師は英語がＡＥＴのジョンとロス君、そして中国語は馮冬さんの三人です。

受講生は、日常会話を中心とした講義に熱心に耳を傾けていました。この講座は、十二月八日までの八回行われます。

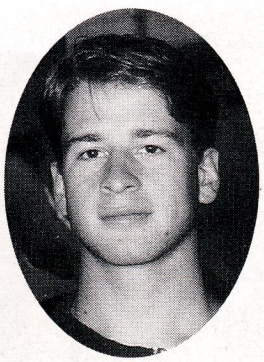
▲十月十四日から始まった語学講座
（宇治市生涯学習センター）

よろしくお願いします。
新しいＡＥＴ二人が着任

今年の八月に、友好都市カムループス市から二人の英語指導助手が来宇。市内の中学校で英語助手として活躍しています。

▲ ジョン・アニキアリコさん

新しいＡＥＴは、ジョン・アニキアリコさん（二五）とロス・ハンフリーさん（二四）の二人。



▲ ロス・ハンフリーさん

ジョンは空手とテニス、ロスはコンピューターが趣味の青年です。現在、一日も早く日本語を覚えようと、日本語の勉強に励んでいます。

二人は十月十四日から始まった語学講座の講師としても、活躍してくれています。

カムループス市日系人会
文化センター新築カンパ
ありがとうございました

宇治市の姉妹都市であるカナダ・カムループス市の日系人会より、新文化センターの建設資金の協力依頼がありました。

そこで、資金協力を行うため「世話人会」を設置し、カムループス市訪問者をはじめ広く市民に協力依頼を致しました。その結果、大変多勢の方々から総額一八二万三千円の協力金をいただきました。必要経費を差引き全額「日系人会」に送金致しますとともに、ご協力いただきました方全員のお名前を「協力者名簿」としてお届けいたしました。なお、新文化センターの竣工式は十一月五日に開催されました。

この新文化センターは宇治市民が訪問した時には、「交流の場」となりますし、また日系人の活動の拠点として多くの方々に利用されるものと思います。

ご協力いただきました会員各位に対し心よりお礼申し上げますとともに、引き続き国際交流事業にご協力いただきますことをお願い申し上げまして、略儀ながらお礼のことばとさせていただきます。

世話人代表　中川恵次

咸陽市友好親善訪問団が帰国
鄭市長や実験小学校を訪問

中国・咸陽市友好親善訪問団（岩本昭造団長）十名は、十月二十二日午前七時に多数の市民や関係者の見送りを受けて出発し、二十八日全員元気に帰宇しました。

一行は、二十三日と二十四日は咸陽市に滞在、二十三日には市役所を表敬訪問し、今年五月に新しく就任された鄭徳義市長はじめ李錦江咸陽市委員会書記などと歓談しました。この後一行は咸陽市主催の歓迎会に出席して、多くの咸陽市民に歓迎を受けました。

▲鄭市長に池本市長の親書を手渡す岩本団長

二十四日には、本市の三室戸小学校が交流している咸陽市実験小学校を訪問し、学校長はじめ教職員と教育内容や施設について意見交換をしました。

訪問の中で岩本団長に、三室戸小学校創立二十周年を祝して実験小学校の児童の絵十五点が贈られました。その後、一行は京都文教短期大学が交流を予定している咸陽師範専科学校を訪問し、学校長の案内で施設を見学するなど、交流を深めました。

▲ 実験小学校で学校長と懇談

会費納入のお願い

平成六年度の会費を、同封の振り込み用紙で十二月二十八日までに納入していただきますようお願いいたします。

また、住所の変更などがありましたら事務局までご連絡ください。会費は次のとおりです。

▼個人会費　二千円
▼団体会費　五千円
▼法人会費　一万円

宇治市国際交流基金
ご協力ください。

宇治市では、昭和六十三年三月、国際交流の推進と、青少年の海外研修派遣、外国人留学生への生活援助その他の国際交流事業に寄与することを目的に「宇治市国際交流基金条例」を設置。基金の目標額を一億円とし、その運用益で事業を展開することにしています。

これまで多くの団体、市民の皆さんからご協力をいただき、その総額は約三千万円となっていますが、目標額にはまだまだ遠い額です。

宇治市の国際交流の推進と、本協会の活動を一層高めるため、本基金へのご協力をお願いします。